

原風景

崩れる城壁、剥ぎ取られるヴェール
私の使命は果たされてしまったのか
それともあのシジフォスの如く
もう一度やり直さねばならぬのか

この生が波であるならば
明日はあまりに明らかであり
私の前には正に何も存在しない
全ての運動が停止しても同じことだ

今、私は、ただの‘もの’になった
何ものも意味しない空虚な極限
則ち、原風景の中のひとつの‘もの’に

(1983.9.6)